

2009年度(2010年3月期) 第3四半期 決算説明会

2010年 1月29日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 本説明資料における表示方法

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

「その他の事業」セグメントに含まれる「胎内育成事業」の一部変更について

- 将来の事業化を目指していた、「その他の事業」セグメントに含まれる「胎内育成事業」の一部を、3月に発表したデバイス事業の構造改革の方向性に沿って全社の基礎研究開発へと役割を変更
- それにともない、2009年度以降のセグメント損益の開示値を変更
- 2009年度予想の説明において、
前年度を比較対象とする場合は、2008年度のセグメント損益もあわせて補正

1) 2009年度 第3四半期決算

2) 2009年度 業績予想

■外部環境の認識

- 前回(10月29日)の業績予想発表以降、各国の景気刺激の政策効果もあり徐々に市場環境は回復に向かっている
- 企業の投資意欲も少しずつ回復傾向
- 第4四半期における不透明感は薄らいでいる

■主要事業の状況

企業向けビジネスの投資意欲が徐々に回復、
電子デバイスの需要は第3四半期まで継続、第4四半期は通常のシーズンナリティ

【情報関連機器】

- コンシューマー向けは、競争力の高い製品投入により堅調に推移
⇒ 2010年度における、更なる業績回復・収益基盤の強化に向け第4四半期においても本体の積極的な販売施策を展開。
- ビジネス向けは、POS関連製品、プロジェクター市場の回復

【電子デバイス機器】

- プロジェクター用HTPS、水晶デバイス、半導体は12月までの需要は堅調
- 第4四半期は通常のシーズンナリティの見込みであるが、稼働率は維持

決算ハイライト(9ヶ月通算) ▶ 前年同期比



9ヶ月通算

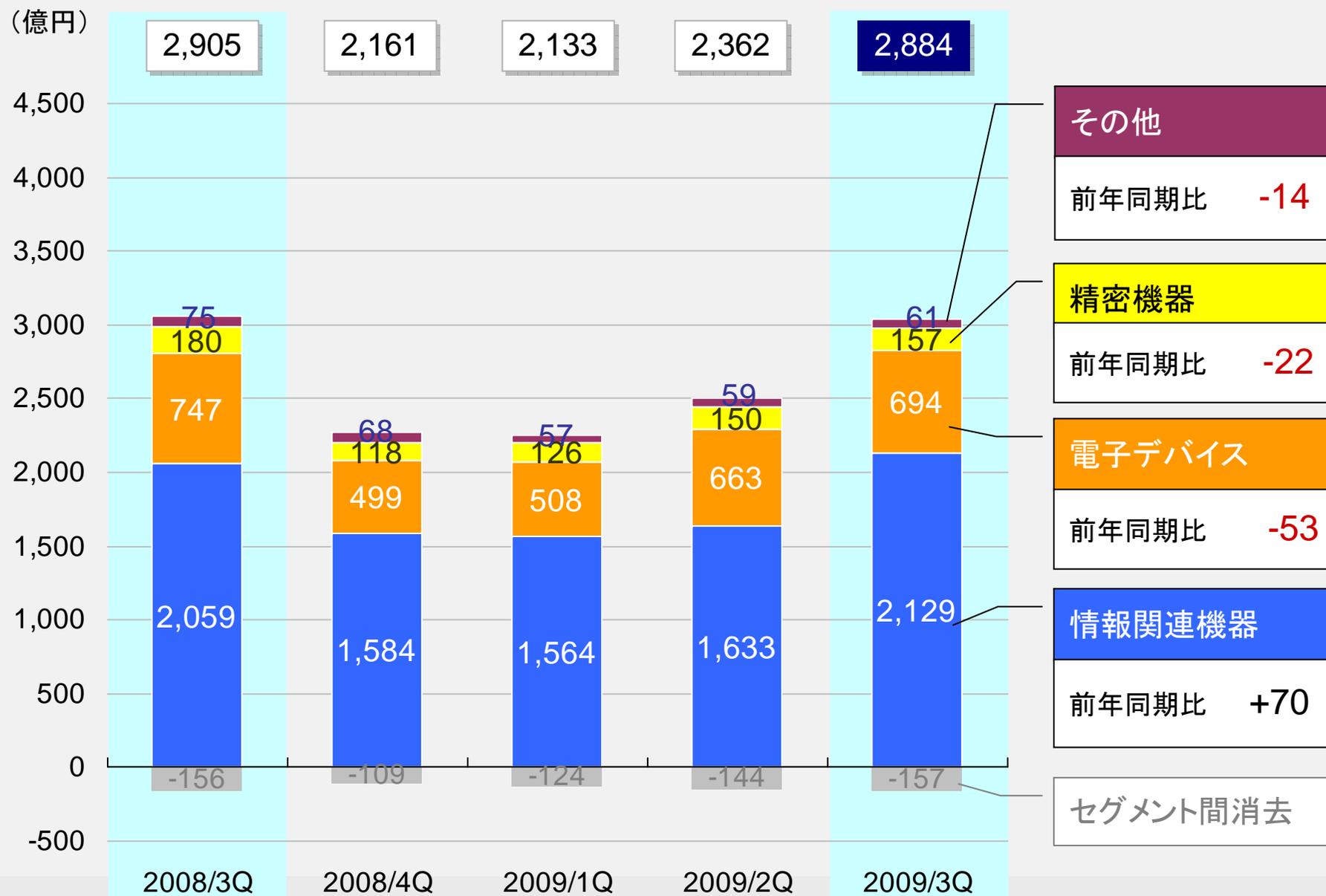
(億円)	2008年度		2009年度		増減	
	通算	%	通算	%	増減額	増減率
売上高	9,063	-	7,381	-	-1,682	-18.6%
営業利益	327	3.6%	221	3.0%	-105	-32.2%
経常利益	375	4.1%	164	2.2%	-211	-56.2%
税引前利益	197	2.2%	74	1.0%	-122	-62.1%
期間純利益	118	1.3%	△47	-0.6%	-166	-
EPS	60.55円		△23.82円			
換算 レート	USD	102.84円	93.56円			
	EUR	150.70円	132.99円			

決算ハイライト(第3四半期決算) ▶ 前年同期比

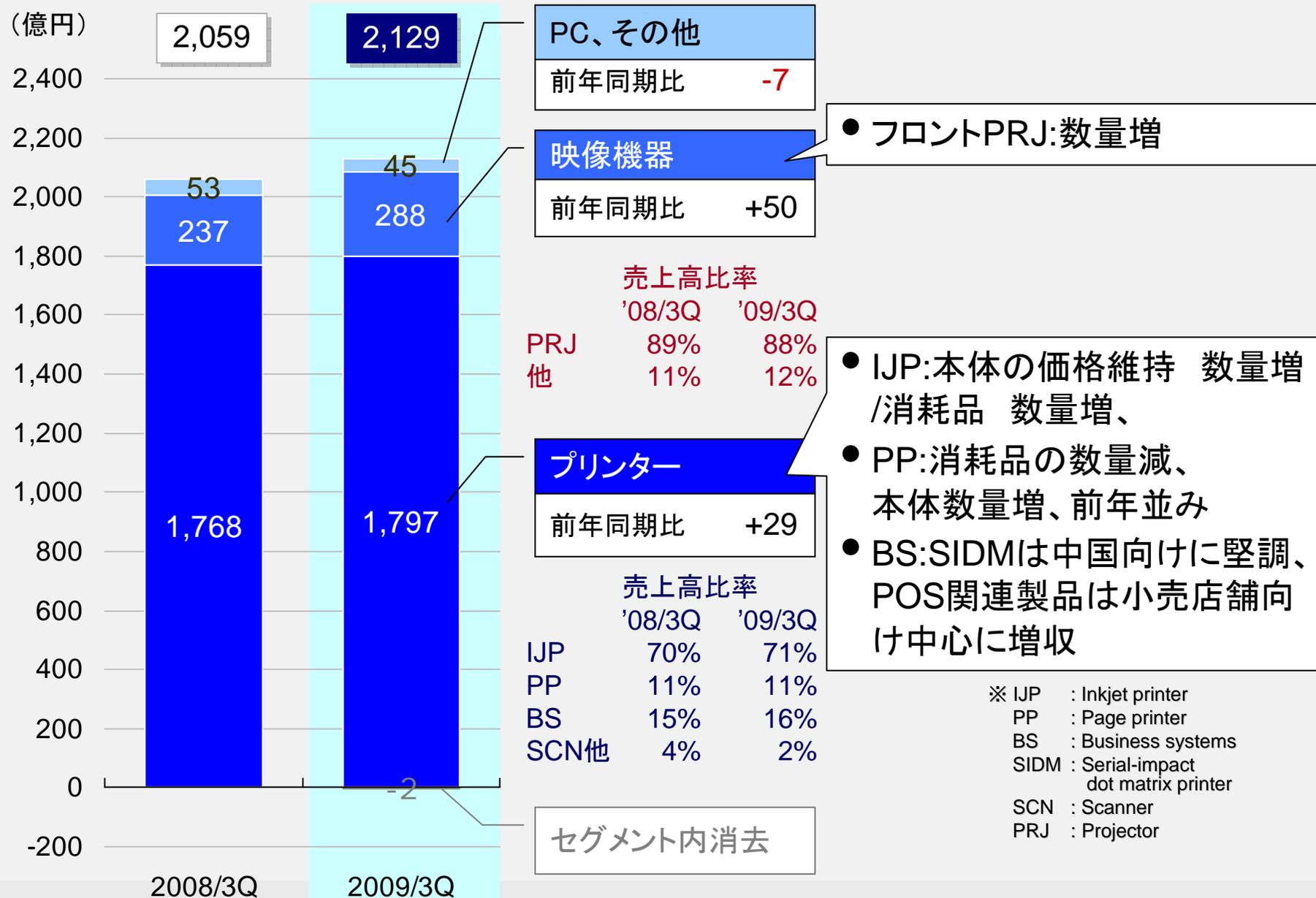


(億円)	2008年度		2009年度		増減	
	3Q実績	%	3Q実績	%	増減額	増減率
売上高	2,905	-	2,884	-	-20	-0.7%
営業利益	46	1.6%	314	10.9%	+267	+570.1%
経常利益	100	3.5%	308	10.7%	+208	+207.3%
税引前利益	△6	-0.2%	278	9.7%	+285	-
四半期純利益	1	0.1%	244	8.5%	+242	-
EPS	0.86円		122.36円			
換算 レート	USD	96.32円	89.71円			
	EUR	126.74円	132.68円			

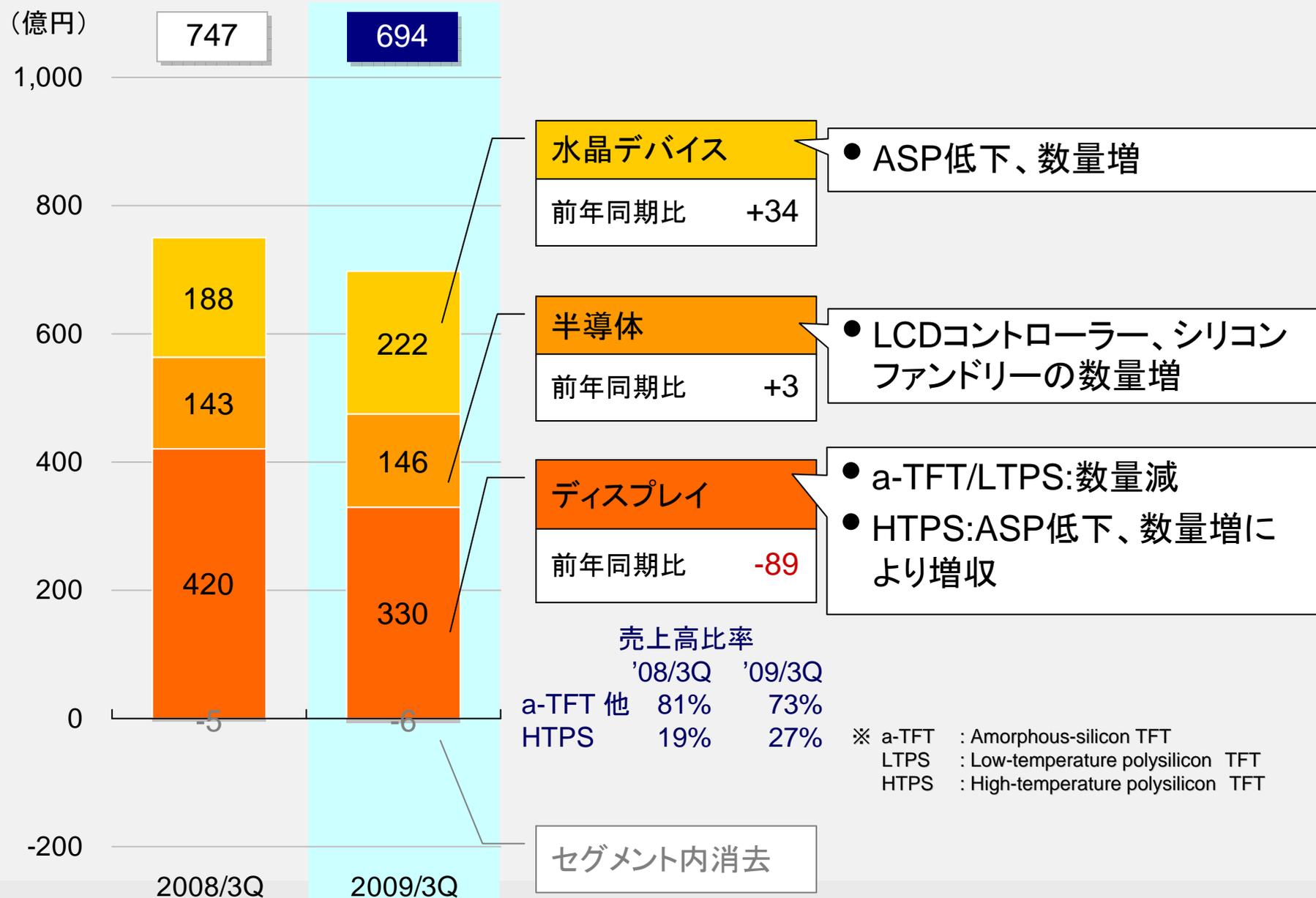
四半期売上高推移▶事業セグメント別



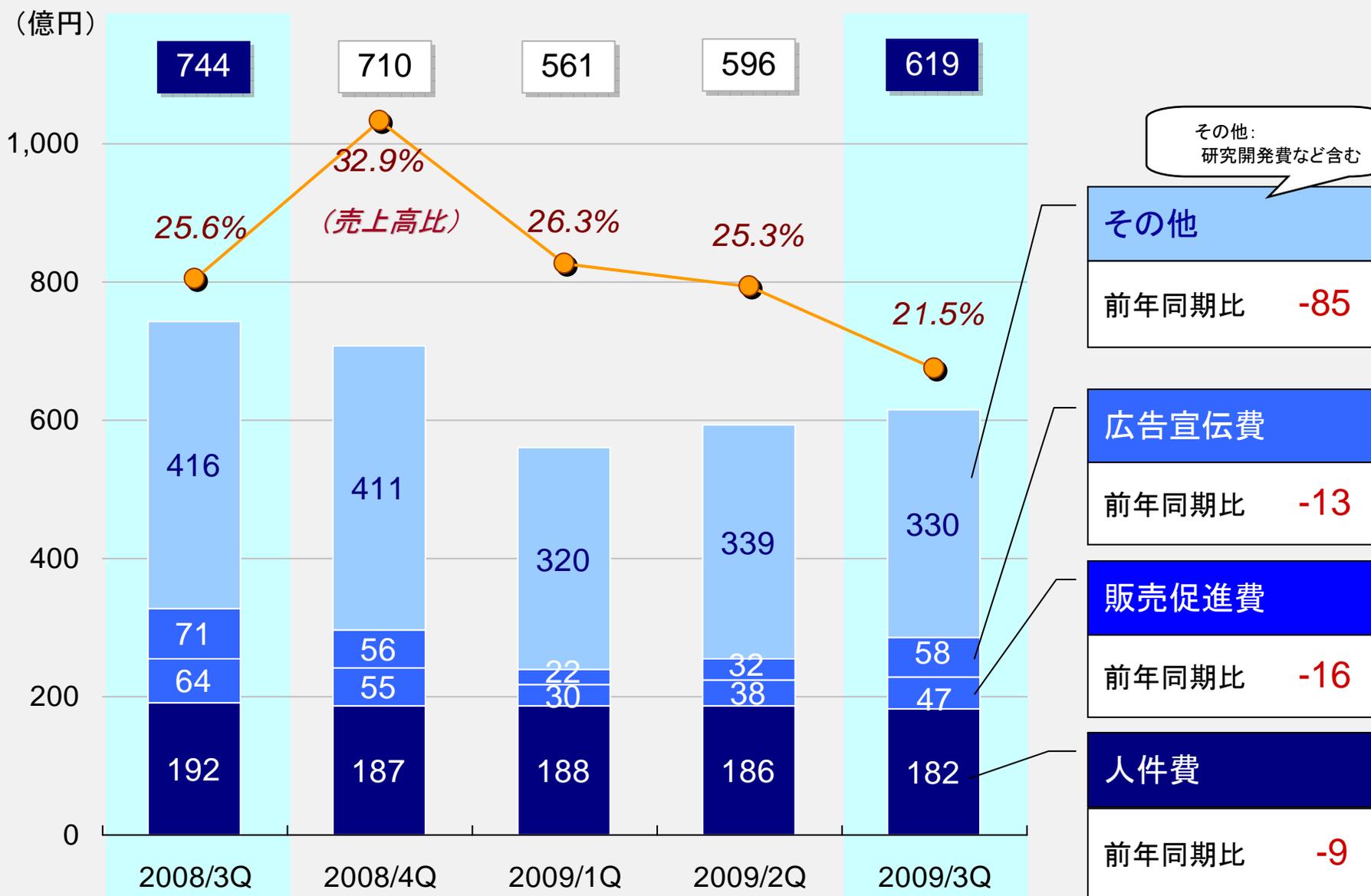
四半期売上高比較▶情報関連機器セグメント



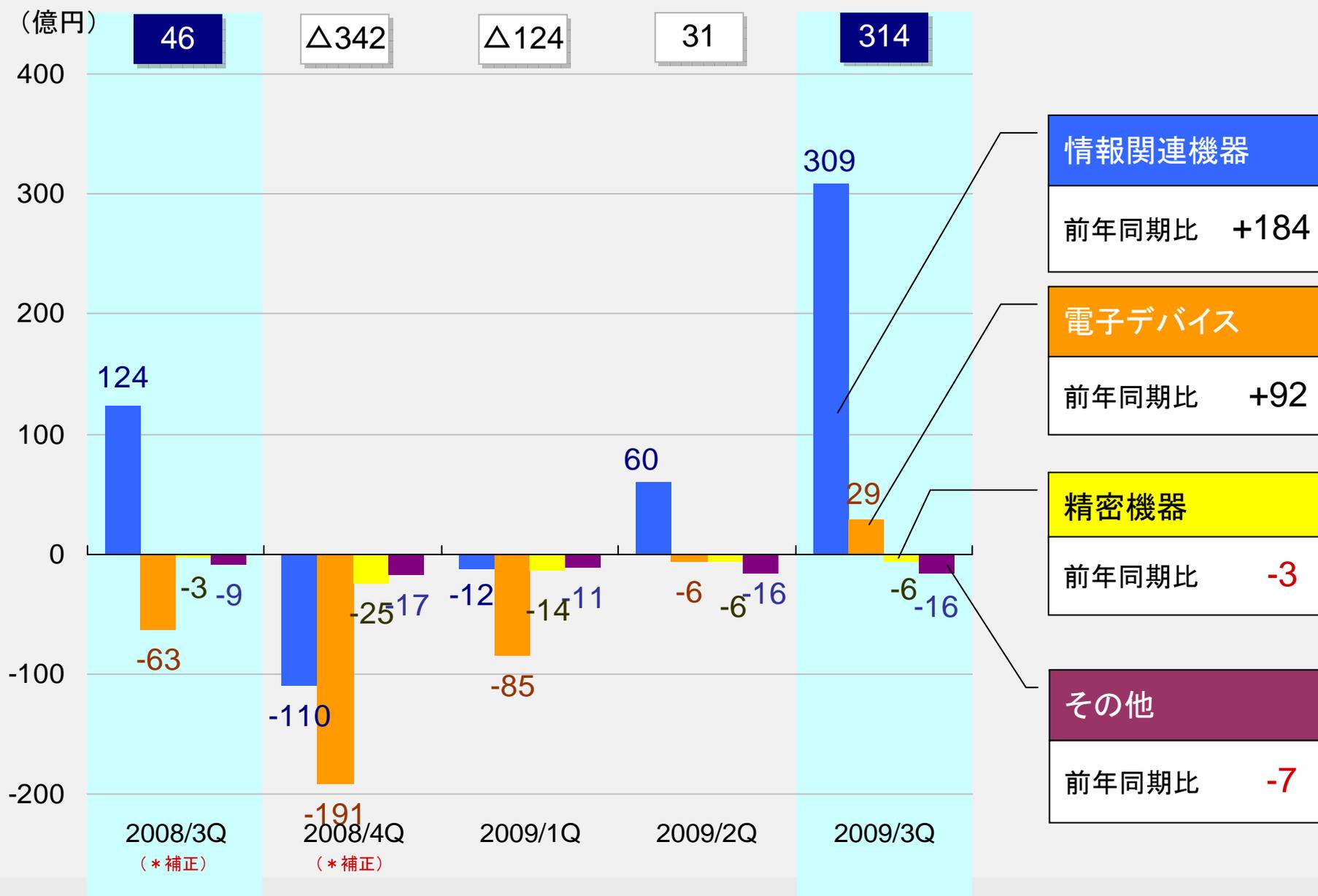
四半期売上高比較▶電子デバイスセグメント



四半期販売費及び一般管理費推移

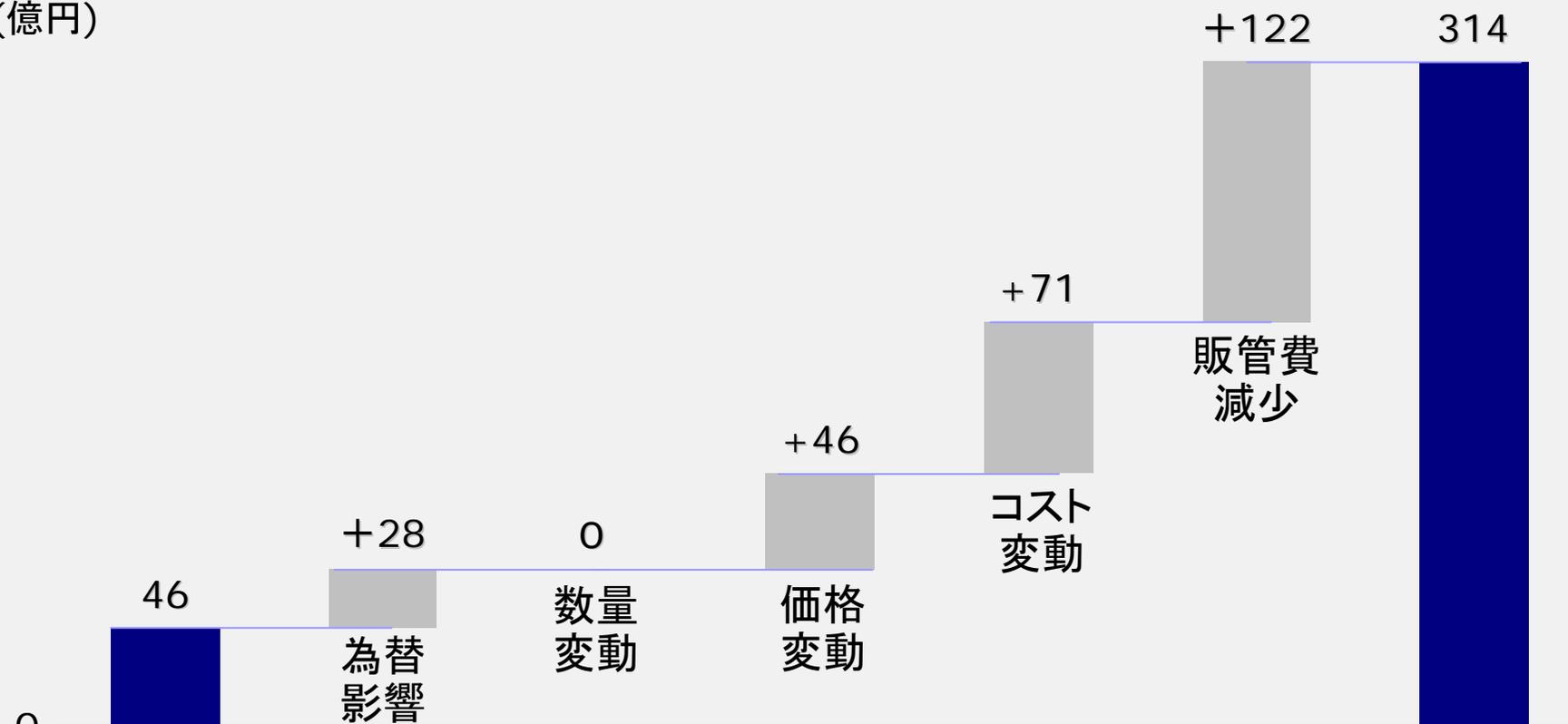


四半期営業利益推移▶事業セグメント別



營業利益增減要因分析

(億円)



営業利益

2008/3Q

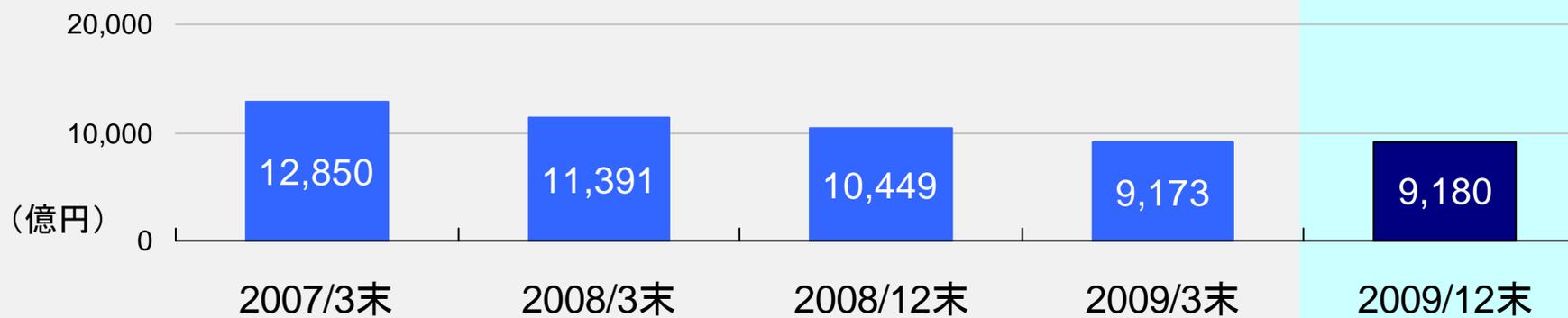
267億円増益

営業利益

2009/3Q

貸借対照表主要項目推移

総資産



たな卸資産

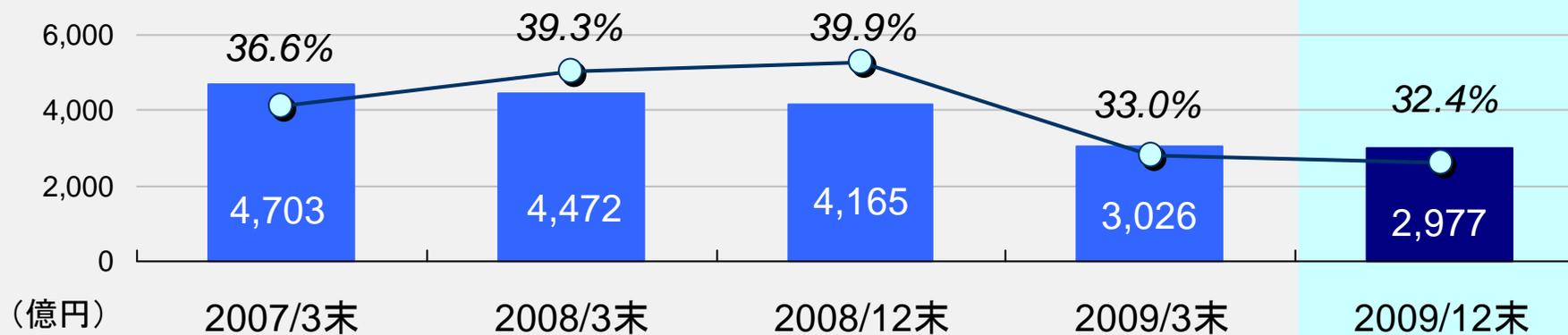


貸借対照表主要項目推移

有利子負債・有利子負債依存度



自己資本・自己資本比率



*有利子負債=2008年度からリース負債を含む

*自己資本=純資産合計-少数株主持分

1) 2009年度 第3四半期決算

2) 2009年度 業績予想

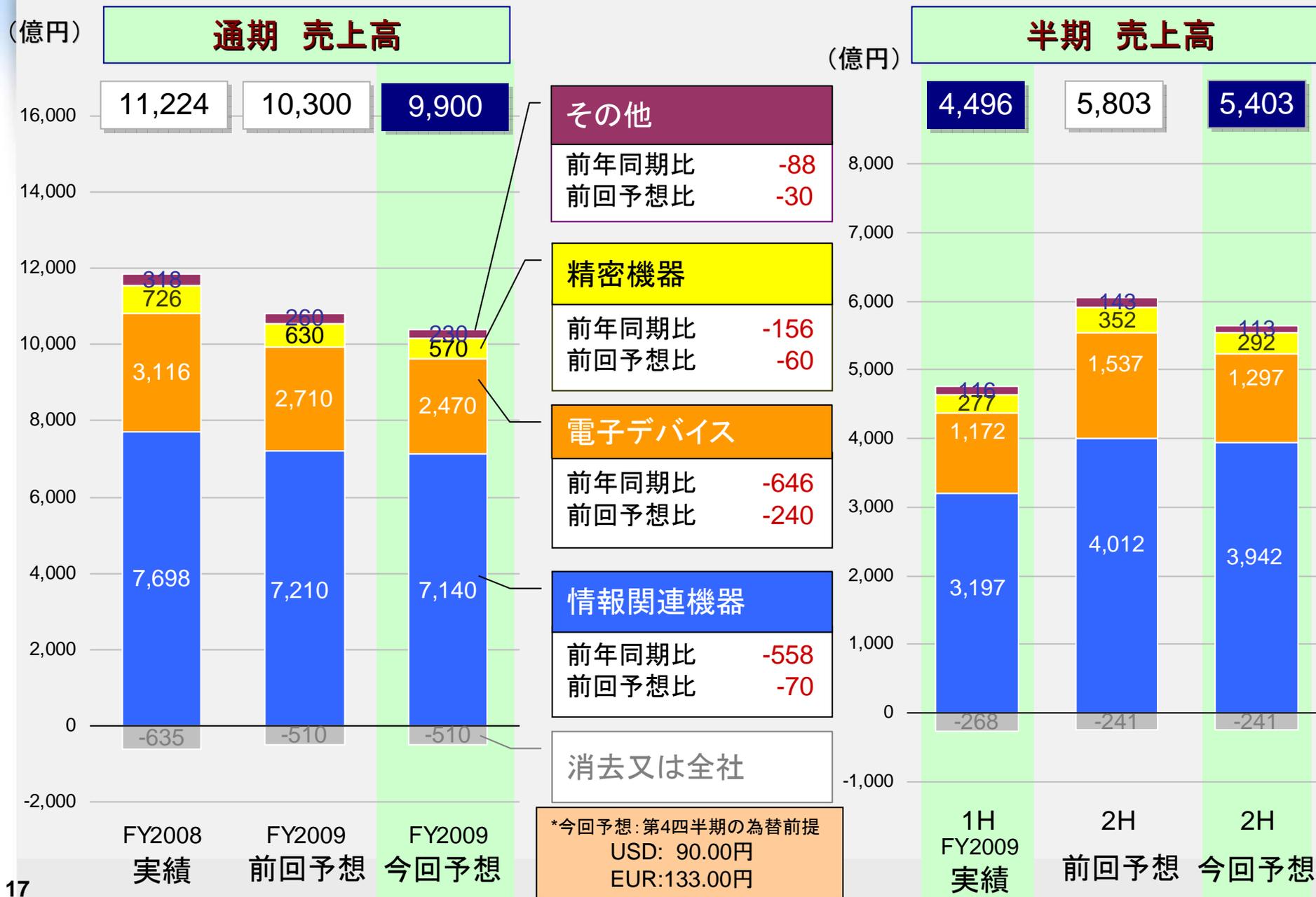
2009年度業績予想



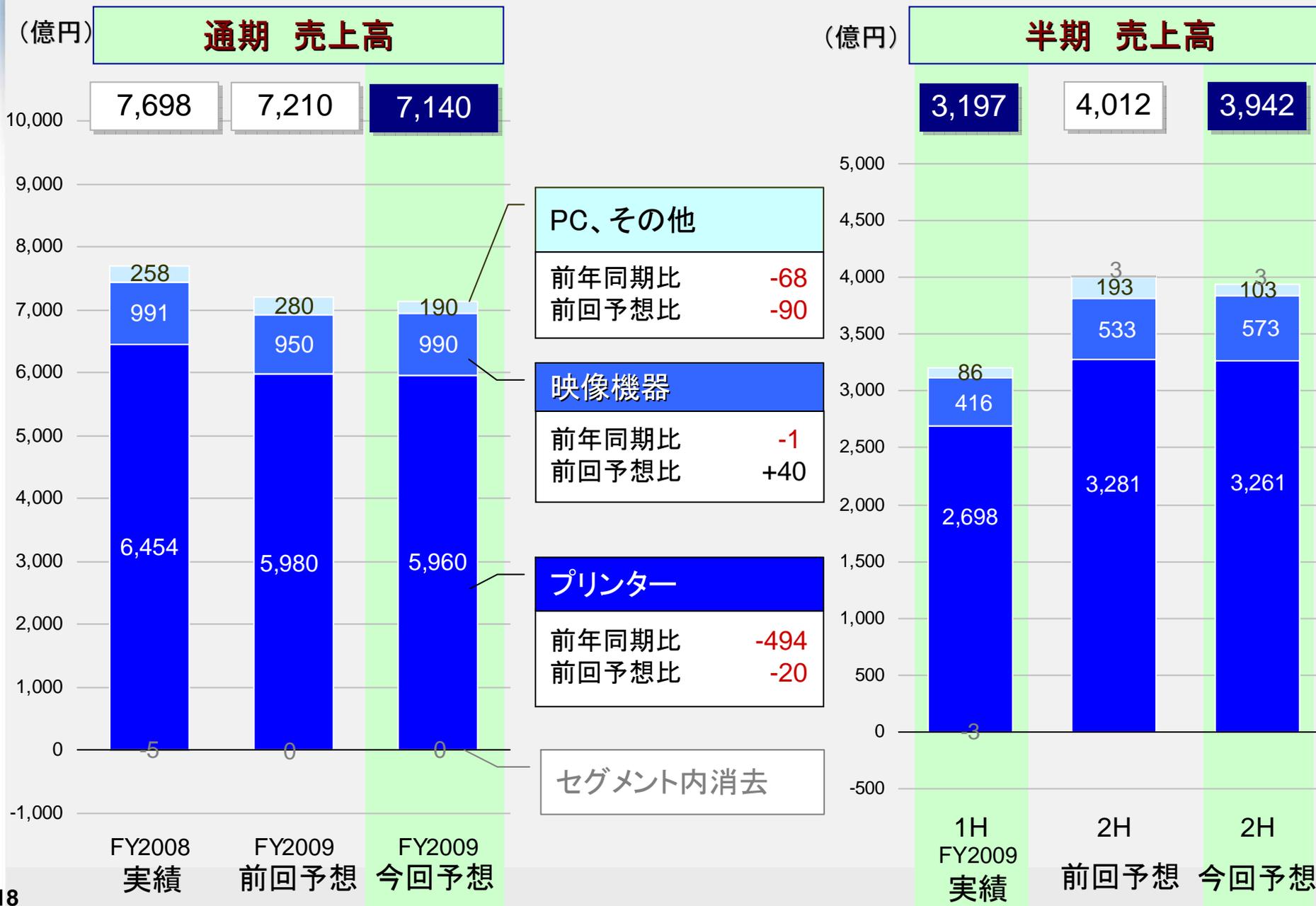
(億円)	2008年度		2009年度				増減額 増減率	
	実績	%	前回予想	%	今回予想	%	前期 実績比	前回 予想比
売上高	11,224	-	10,300	-	9,900	-	-1,324 -11.8%	-400 -3.9%
営業利益	△15	-0.1%	30	0.3%	200	2.0%	+215 -	+170 +566.7%
経常利益	53	0.5%	0	0.0%	130	1.3%	+76 +145.2%	+130 -
税引前利益	△895	-8.0%	△45	-0.4%	0	0.0%	+895 -	+45 -
当期純利益	△1,113	-9.9%	△85	-0.8%	△210	-2.1%	+903 -	-125 -
EPS	△566.92 円		△42.67 円		△105.41 円			
換 算 レ ー ト	USD	100.53 円	94.00 円		93.00 円			
	EUR	143.48 円	132.00 円		133.00 円			

*今回予想: 第4四半期の為替前提
USD: 90.00円
EUR: 133.00円

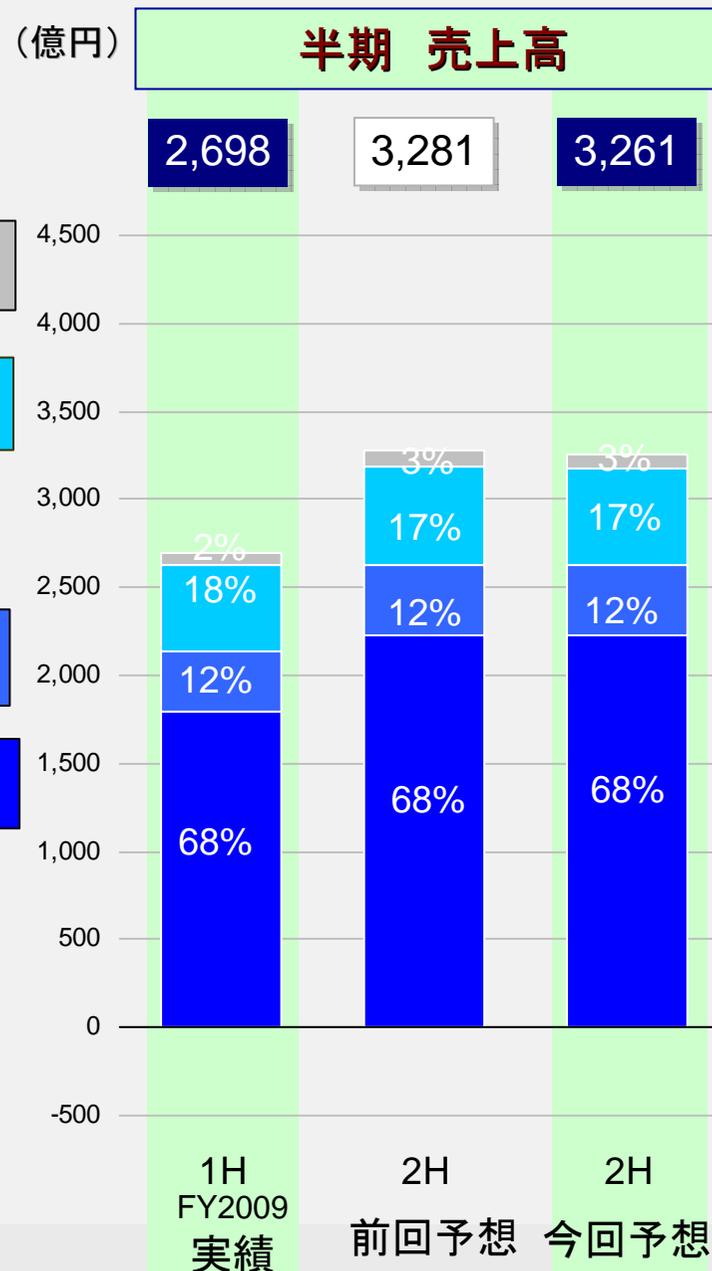
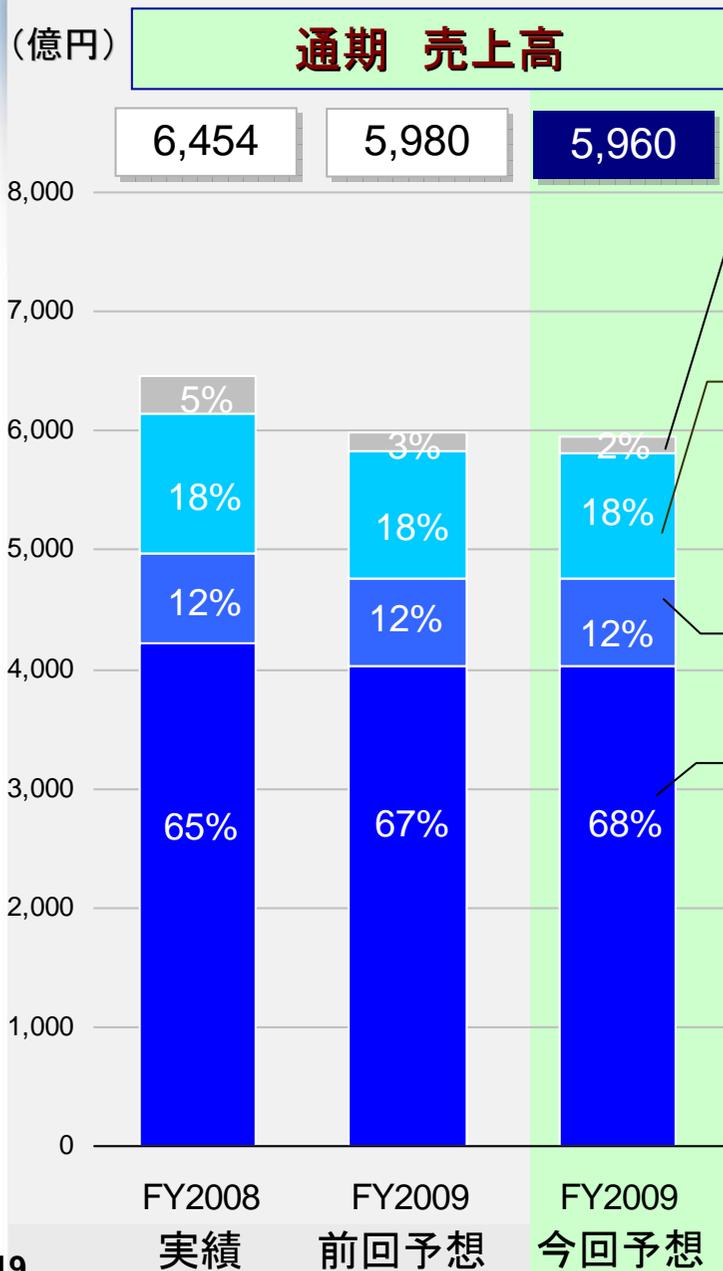
2009年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



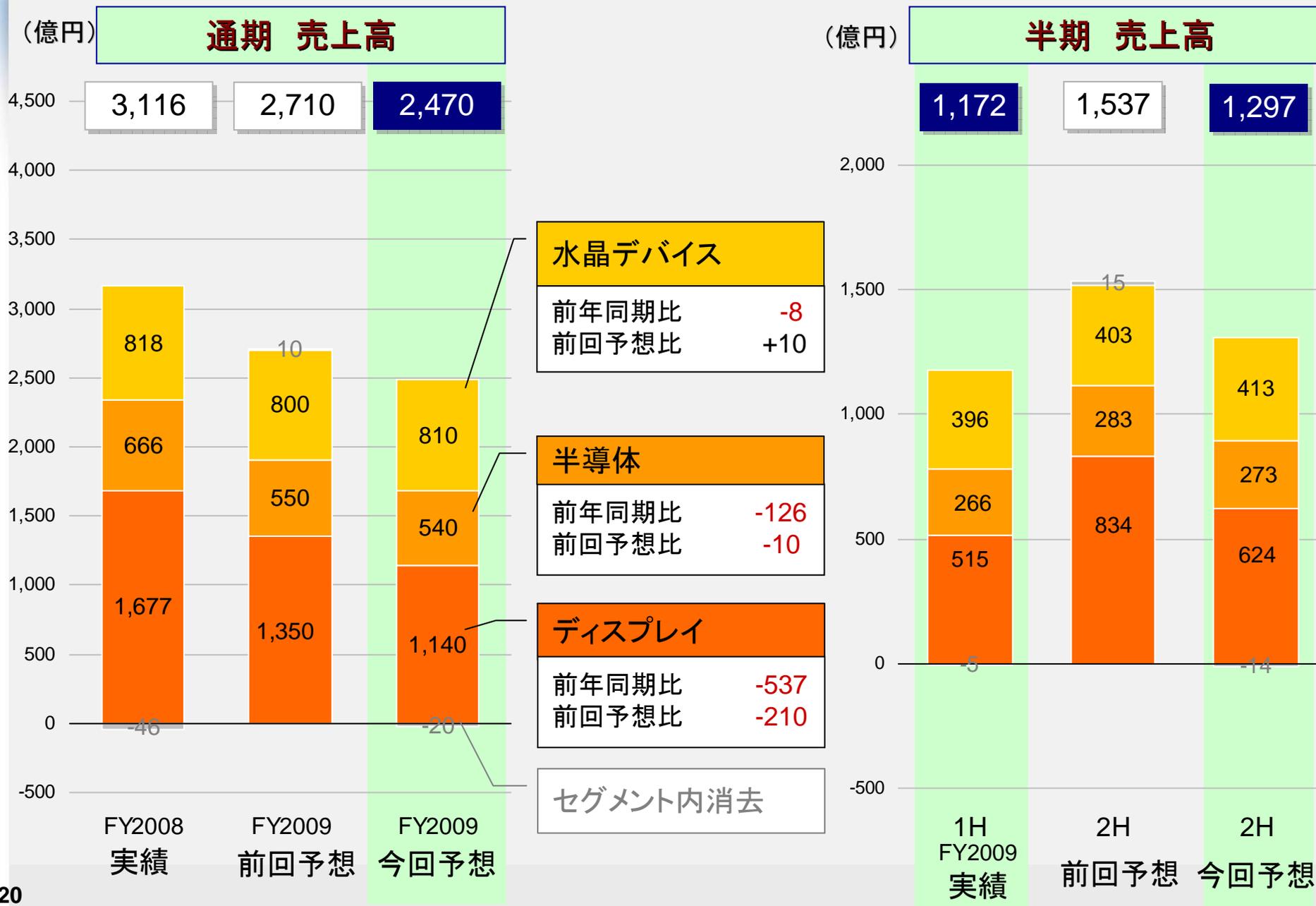
事業別売上高予想▶情報関連機器セグメント



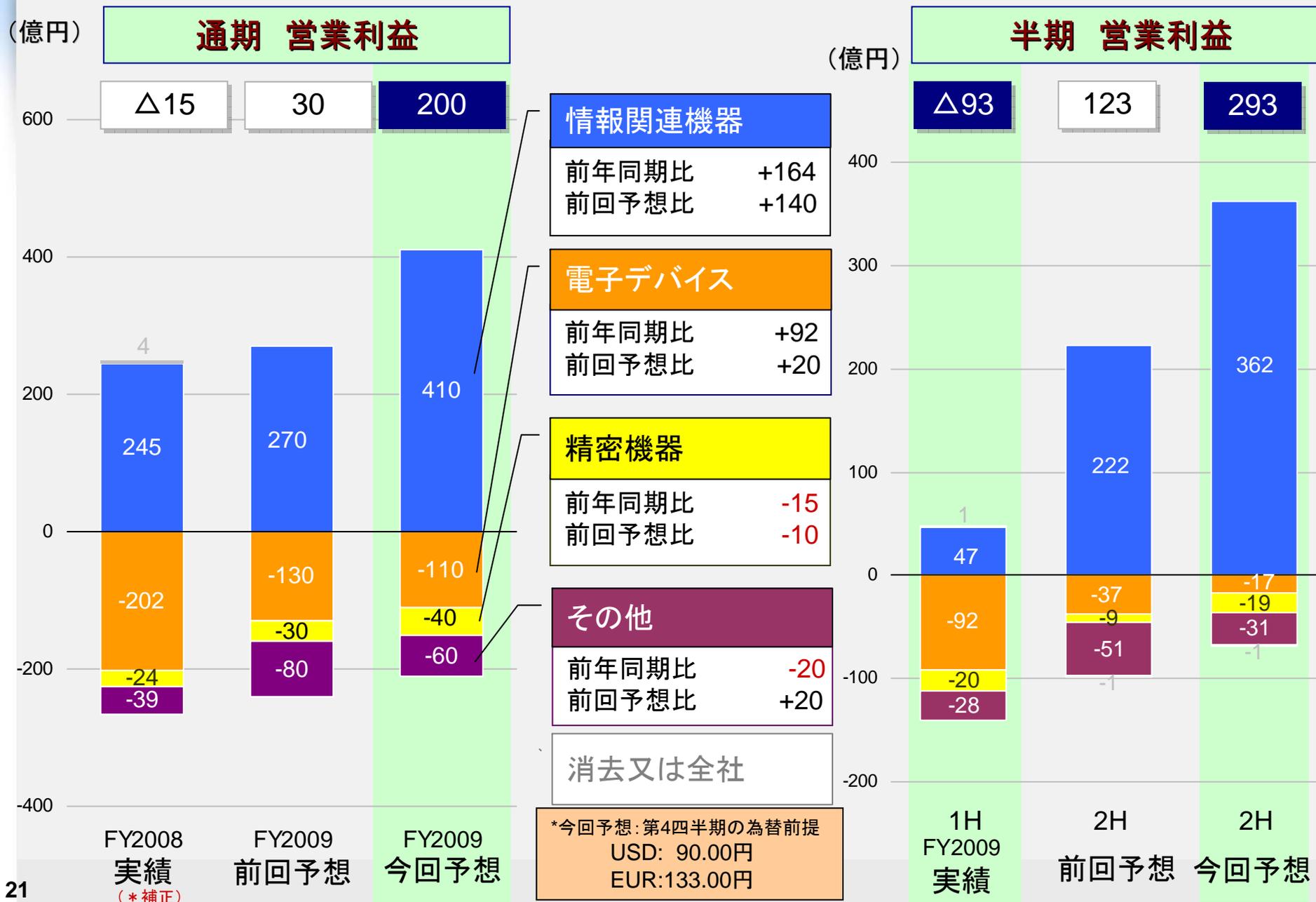
事業別売上高予想▶プリンター事業



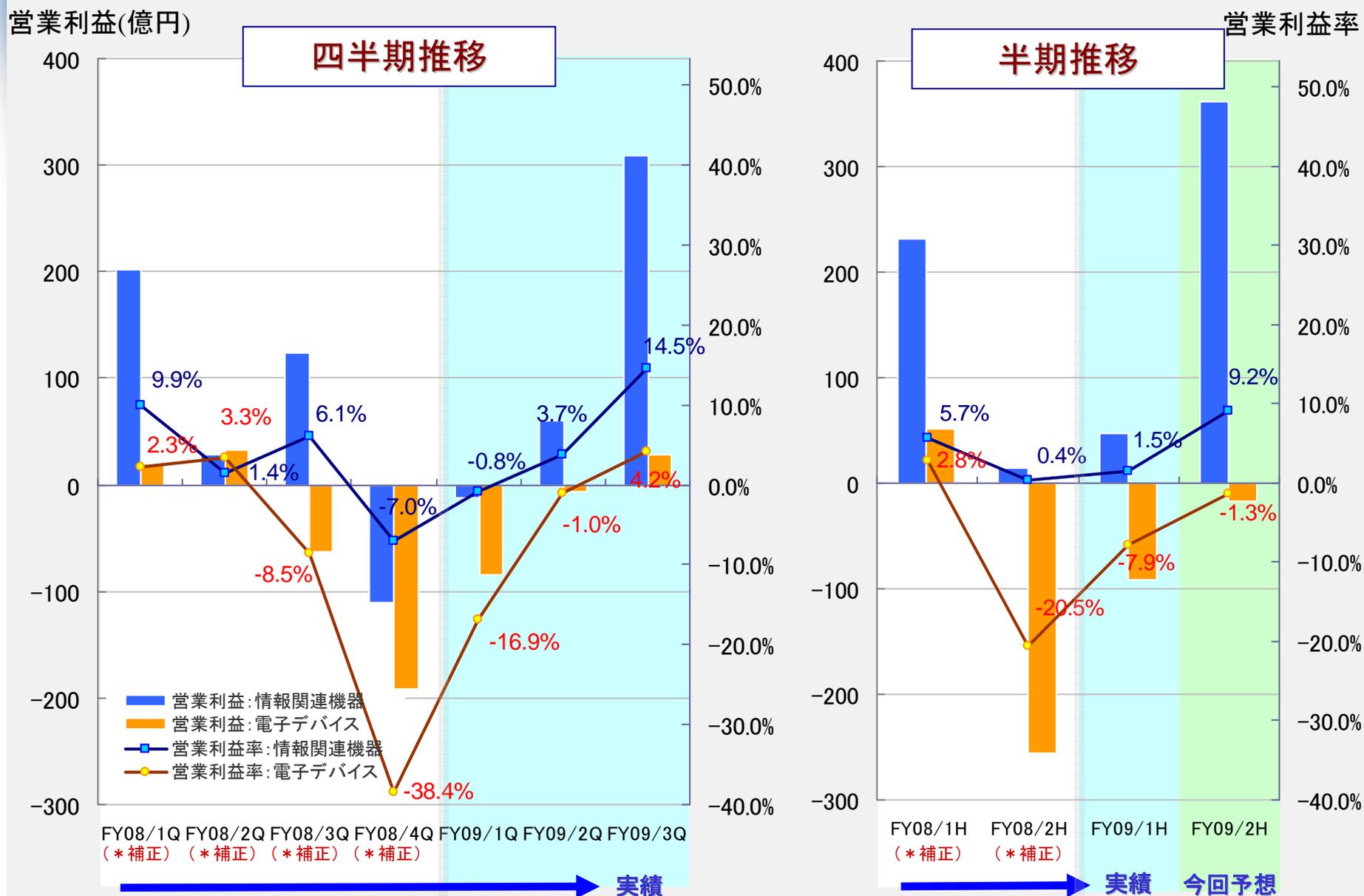
事業別売上高予想▶電子デバイスセグメント



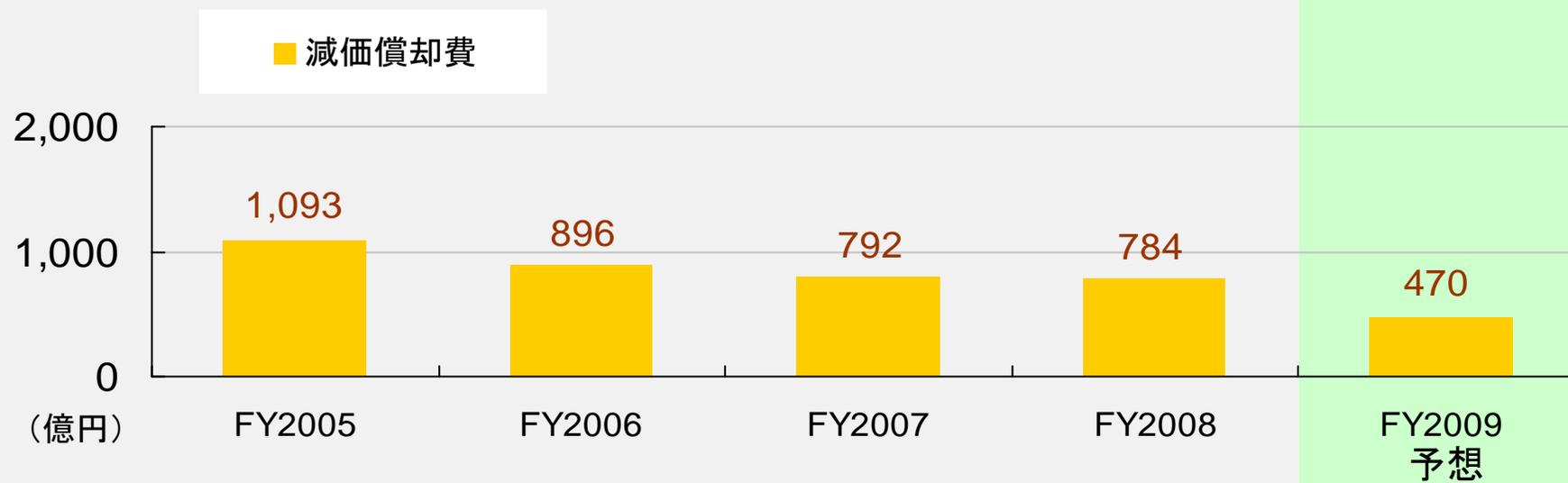
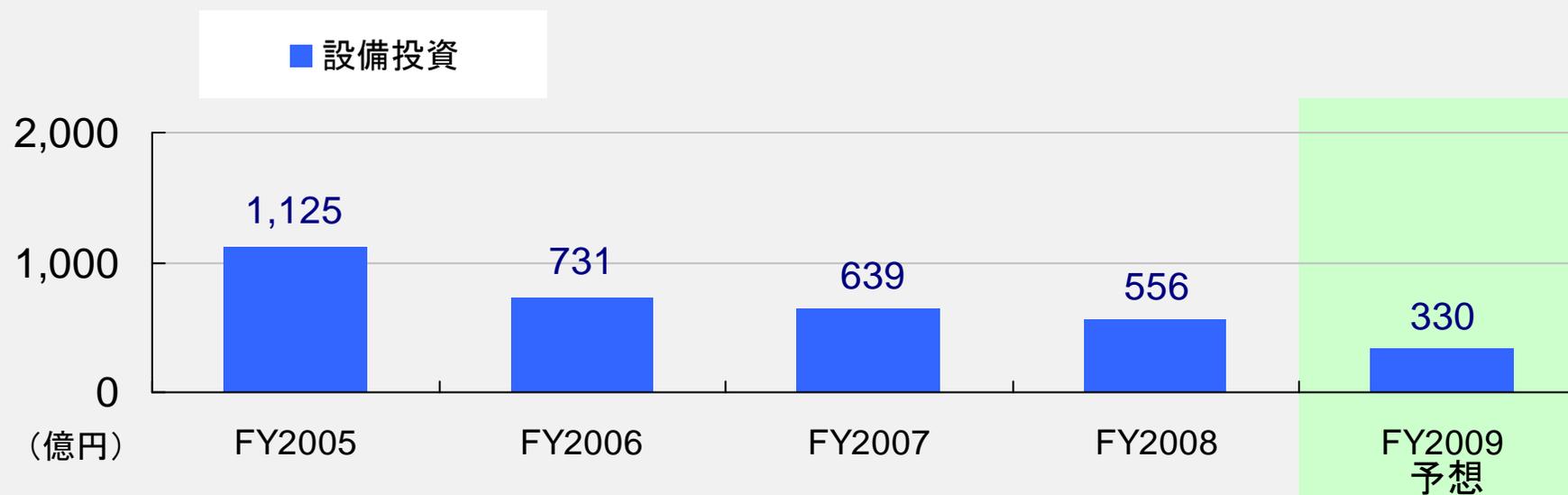
2009年度業績予想(営業利益) ▶ 事業セグメント別



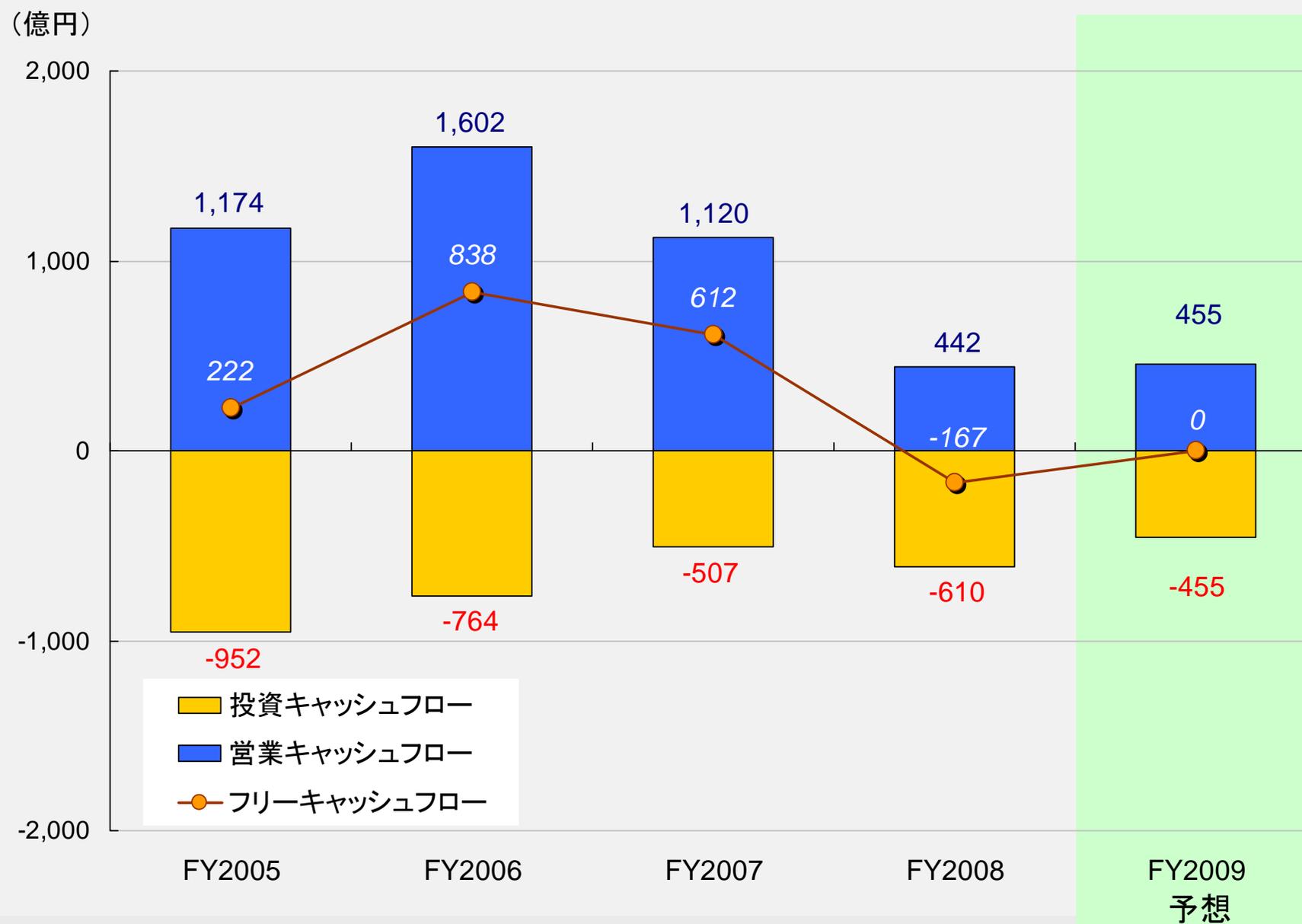
営業利益の推移



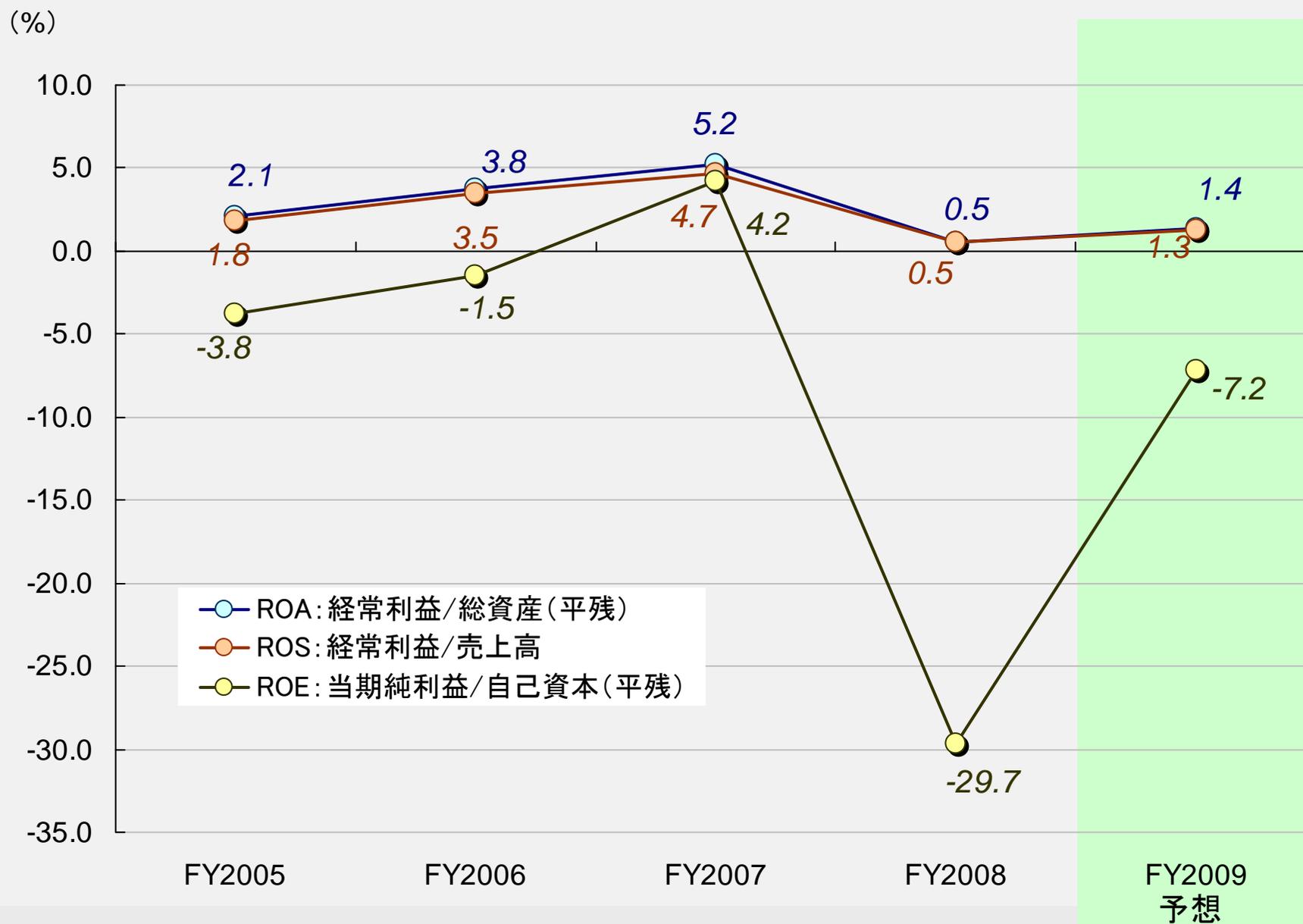
設備投資・減価償却費予想



フリーキャッシュフロー予想



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION